

Something Different.

WATSON® BIO LAB
MADE IN JAPAN SINCE 1988



微生物株を生きたまま
乾燥保存。

常温保存!
省スペース!
郵送可能!

微生物プリザ

常温常圧下

最5年間保存実績*

※保存期間は菌種によって
異なります。



- 省スペース!
- コンタミ軽減!
- 輸送・配布が簡単!
- PCRなどに直接使用可能!

「微生物プリザ」特徴

ペーパーチップにあらかじめ保護剤が塗布されているので、大腸菌や酵母などの微生物株を生きたまま乾燥保存することができます。

それぞれの試料を個別に保存することができるので、コンタミネーションと失活を防ぎ、コンパクトで効率的です。常温乾燥ですのでディープフリーザーや輸送用ドライアイスは必要なく、郵送することもできます。

注) 特定病原体の取扱いは、国内外における関係法令を遵守して適切にお取扱い下さい。



ファイル保存で
保管スペース削減!



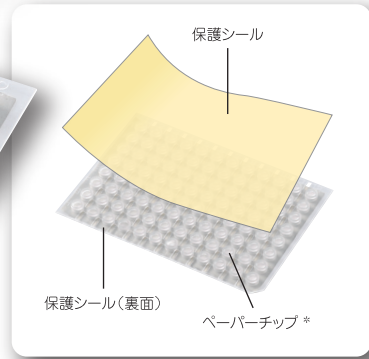
郵送も可能!

*製品の仕様は予告なしに変更することがあります。

Line up

96well

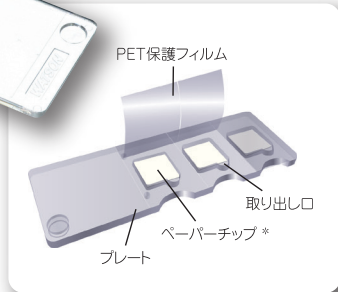
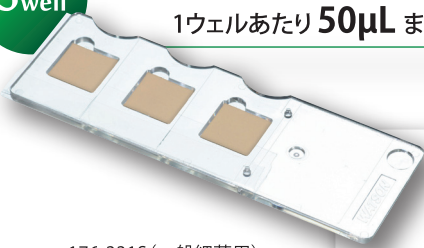
1ウェルあたり 5 μ L まで



- 176-531S (一般細菌用)
- 176-551S (酵母用)

3well

1ウェルあたり 50 μ L まで



- 176-331S (一般細菌用)
- 176-351S (酵母用)

1well

1ウェルあたり 200 μ L まで



- 176-2311S (一般細菌用)
- 176-251S (酵母用)

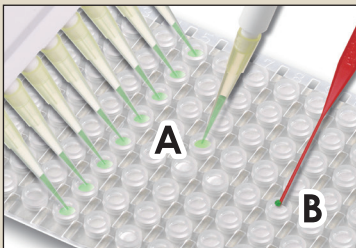
* ペーパーチップには保護剤が塗布されています。塗布斑が着色となって見えることがありますが品質に影響ありません。

微生物ブリザ
使用方法動画



youtu.be/PB97FyfHEfQ

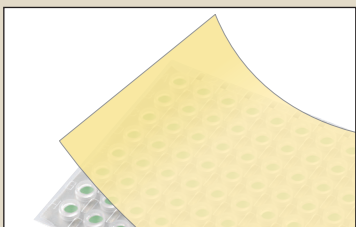
保存方法



- ① 試料をペーパーチップに吸着させる。
A: 液体培地の場合
B: 寒天培地からピッキングする場合
※1ウェルあたりの試料容量
96well → 5 μ L程度
3well → 50 μ L程度
1well → 200 μ L程度

- ② 乾燥させる。減圧乾燥することをお勧めします。
※乾燥の目安 96well → 60分
3well/1well → 90分

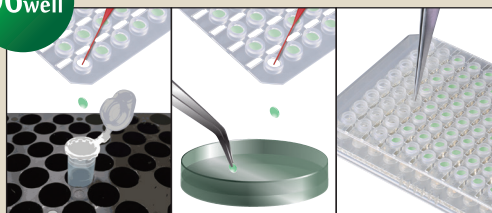
- ③ PET保護フィルム・保護シールを貼り、室温にて保存。



復元方法

- ① PET保護フィルム・保護シールを外し、ペーパーチップを容器に落とす。

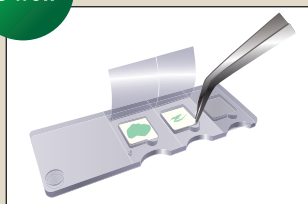
96well



ピンセットなどでペーパーチップを押し出します。
※既存の96穴プレートに重ねて使用すると便利です。

3well

ピンセットなどで取り出し口からペーパーチップを剥がします。

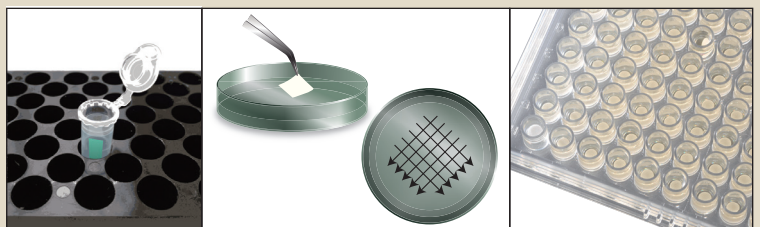


1well

必要な分のペーパーチップをカットして取り出します。



- ② 容器に抽出用の溶液を入れ攪拌する。寒天培地の場合は培地に擦り付ける。



※特定病原体の取扱いは、国内外における関係法令を遵守して適切にお取り扱い下さい。

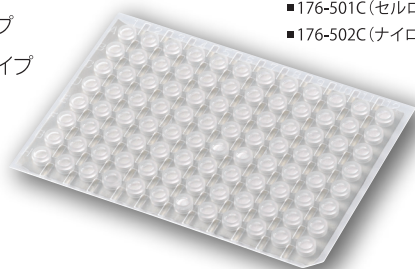
微生物プリザ Q&A

<p>Q. 保存期間と保存温度の関係とは？</p>	<p>A. 半年以上保存される際は、保存温度を低くしてください。短期間であれば、常温でも保存可能なものもあります。弊社検証データ（裏表紙）をご参考に保存ください。</p>
<p>Q. 使用期限はありますか？</p>	<p>A. 製造年月日より1年以内で使用を開始してください。</p>
<p>Q. 未使用製品の保管方法は？</p>	<p>A. 袋を開封したまま未使用で保管しないでください。袋を開封すると滅菌の効果が失われます。必ず使用直前に、クリーンベンチあるいは安全キャビネット内で開封してください。</p>
<p>Q. -20℃での保存ではなく、-80℃で保存した方が良い？</p>	<p>A. -20℃より低温での保存は避けてください。-20℃より低温で保存するとプレートに貼り付ける保護シールの粘着が機能しなくなる場合があります。</p>
<p>Q. どのような形態で保存すれば良い？</p>	<p>A. プレート同士保護シール面を向かい合わせて重ね、輪ゴムで固定し、チャック袋で保存してください。重ねることでシールの巻れが防止できます。</p>

DNAやRNAなどの核酸や血液などの検体には・・・

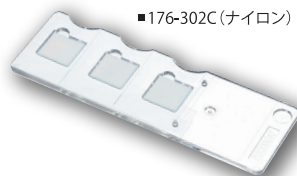
プリザベーションプレート (PVP)

- ・ナイロンペーパーチップタイプ
- ・セルロースペーパーチップタイプ



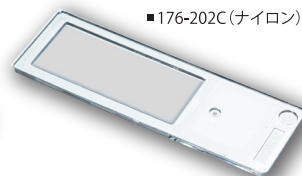
96Well

- 176-501C (セルロース)
- 176-502C (ナイロン)



3Well

- 176-301C (セルロース)
- 176-302C (ナイロン)



1Well

- 176-201C (セルロース)
- 176-202C (ナイロン)

「微生物プリザ」「プリザベーションプレート」は、文部科学省知的クラスター創成事業＜徳島地域野地グループ（徳島大学）＞の研究成果を製品化したものです。

本事業は、経済産業省平成24年度新連携対策補助金（事業化・市場化支援事業）＜事業者名：深江化成株式会社、ワトソン株式会社、日本ジェネティクス株式会社＞のご支援をいただき実施しております。

- 弊社社内検証では、好気状態での検証のみ行っております。嫌気性細菌の保存を望まれる方はあらかじめプレテストを行ってからお使いください。

- 目安の乾燥時間はそれぞれ次の通りです。
(気温23℃、湿度50%の条件時の目安)

[96ウェル] 60分以上
[1ウェル/3ウェル] 90分以上



ご使用上の注意

- 特定病原体の取扱いは、国内外における関係法令を遵守して適切にお取り扱い下さい。

- 研究目的以外で使用しないでください。
- 手袋とマスクを着用して作業を行ってください。
- ディスポーザブル製品です。再利用をしないでください。
- オートクレーブ滅菌をしないでください。
- 開封後は高温多湿な環境を避けて保管してください。

- サンプル保存には光、埃、多湿な環境を避けてください。
- 保存期間はサンプルの純度や保管状態により変動します。
- 保存期間を把握したい場合は、半減期テストを実施ください。
[半減期: $t(1/2) = \ln 2 / \{\ln(100) - \ln(1\text{ヵ月後の残存率})\}$]

■微生物プリザ保存後の微生物の生存状況一覧

No.	界	属	種	JCM No.	0.5ヶ月目		1ヶ月目		3ヶ月目		6ヶ月目		9ヶ月目		12ヶ月目		24ヶ月目		36ヶ月目		48ヶ月目		60ヶ月目		
					-20℃	4℃	RT	37℃	-20℃	4℃	RT	37℃	-20℃	4℃	RT	37℃	-20℃	4℃	RT	37℃	-20℃	4℃	RT	37℃	-20℃
1		<i>Deinococcus</i>	<i>grandis</i>	6269	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2		<i>Chryseobacterium</i>	<i>meningosepticum</i>	21065	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3		<i>Flavobacterium</i>	<i>aquatile</i>	20475	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
4		<i>Sphingobacterium</i>	<i>multihorum</i>	21156	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5		<i>Sphingomonas</i>	<i>paucimobis</i>	7156	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6		<i>Methylobacterium</i>	<i>extorquens</i>	2802	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7		<i>Alcaligenes</i>	<i>faecalis</i>	20522	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8		<i>Comamonas</i>	<i>testosteroni</i>	5832	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9		<i>Deiftia</i>	<i>addovovans</i>	5833	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
10		<i>Herbaspirillum</i>	<i>seropedacae</i>	21448	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11		<i>Halomonas</i>	<i>halophila</i>	20791	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12		<i>Pseudomonas</i>	<i>aeruginosa</i>	5962	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13		<i>Azotobacter</i>	<i>vinelandii</i>	21475	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14		<i>Pseudalteromonas</i>	<i>carrageenovora</i>	8851	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15		<i>Shewanella</i>	<i>putrefaciens</i>	20190	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16		<i>Vibrio</i>	<i>proteolyticus</i>	21193	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17		<i>Escherichia</i>	<i>coli</i>	1649	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18		<i>Enterobacter</i>	<i>aerogenes</i>	1235	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19		<i>Bacillus</i>	<i>subtilis</i>	1465	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20		<i>Planococcus</i>	<i>citreus</i>	2532	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21		<i>Lactobacillus</i>	<i>delibueckii</i> subsp. <i>delibueckii</i>	1012	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22		<i>Arthrobacter</i>	<i>globiformis</i>	1332	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23		<i>Micrococcus</i>	<i>luteus</i>	1464	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24		<i>Brevibacterium</i>	<i>linens</i>	1327	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25		<i>Corynebacterium</i>	<i>glutamicum</i>	1318	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26		<i>Microbacterium</i>	<i>lacticum</i>	1379	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27		<i>Rhodococcus</i>	<i>equi</i>	1311	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28		<i>Saccharomyces</i>	<i>cerevisiae</i>	7255	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29		<i>Schizosaccharomyces</i>	<i>pombe</i>	21877	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

真正細菌

真菌			

※この表のデータは、2013年5月1日現在のものです。

※研究開発の結果により内容を更新することがございます。

※この検証で用いられる保藏剤は、一般細菌用と酵母用の2種類で、

それぞれ異なるった組成を持ちます。

※このデータは、あくまで弊社の実験結果であり、全ての実験において保証するものではありません。なお、保藏結果による製品の返品・交換はできません。

微生物プリザの詳細は >>>
<https://www.watson.co.jp/product/special-plate/microbe.html>



発売元
ワトソン株式会社
 Email: tcj@watson.co.jp

東日本営業所

東京都荒川区南千住6丁目57-12

TEL: 03-5615-3591 FAX: 03-5615-3592

西日本営業所

T: 051-2241

兵庫県神戸市西区室谷2-2-7

TEL: 078-991-4489 FAX: 078-991-4491

製造元
深江化成株式会社

※製品価格はワトソンHPにてご確認ください。※製品の仕様・価格等は予告なしに変更することがあります。